

自転車に乗ってめぐろう！玉料町の文化財

※所要時間は目安です。

1 サイクリングロード沿いコース 所要時間 約2時間

玉村町文化センター

●自転車約5分

28 天満宮 (5分)
その昔、この辺りには那波氏一族である福島氏の砦跡があったといわれる。境内には、昭和22年9月のカスリーン台風の「復旧碑」が被害の克明な記録とともに建立されている。

●自転車約3分

29 福島船橋道跡 (5分)
明治24年(1891)に建てられた「福島船橋道」と刻まれた道標が残っている。また、レンガの水門跡と水門の碑、庚申塔なども一緒にある。

●自転車約22分

竹林(「竹林浴」しながら深呼吸)

●自転車約13分

21 火雷神社・22 東林寺 (10分)

●自転車約20分

26 五料関所跡 (5分)

●自転車約15分

20 川井城跡 (5分)

●自転車約1分

9 角淵八幡宮 (5分)

●自転車約1分

ゴール 烏川河川敷総合レクリエーション公園

天気のいい日に散策しよう！
歴史資料館にて資料集「玉料町の文化財」発売中！

2 古代に思いを馳せるとことん古墳めぐり 所要時間 約70分

30 玉村町第15号古墳石室 (10分)
角淵にあった古墳の石室を玉村町文化センター内に移築

●自転車約13分

31 若王子古墳(若王子神社) (10分)
古墳時代のもので土師器や直刀が見つまっている。庚申塔などの石造物も見ごたえがある。

●自転車約12分

8 軍配山古墳 (10分)

●自転車約5分

19 梨ノ木山古墳 (10分)

歴史資料館にて道跡報告書「上之手八王子道跡」発売中！

3 一度は見たい！癒しの石造物めぐり 所要時間 約45分

32 住吉神社(南玉)・金蔵寺 (10分)
社は隣り合い、庚申塔の多い百庚申の一つ。特に金蔵寺には珍しい石臼型の庚申塔がある。

●自転車約1分

6 文安銘五輪塔 (5分)

●自転車約17分

27 常楽寺 (12分)
参道には庚申塔や二十二夜塔など主に江戸時代の多くの石造物が立ち並ぶ。

歴史資料館にて町誌「玉料町の石造物」発売中！

4 名所から穴場まで 玉料町のパワースポットめぐり 所要時間 約95分

境内にあるカ石で願い事をかなえよう！

●自転車約10分

1 玉村八幡宮 (20分)

町名伝説ゆかりの寺で龍神の力を授かる？!

●自転車約13分

4 満福寺 (10分)

伊勢の力で五穀豊穡を願う

●自転車約22分

11 神明宮(樋越) (10分)

魔物退治の伝説残る社で必勝祈願

●自転車約10分

21 火雷神社 (10分)

33 玉料町歴史資料館

江戸時代に宿場として栄えた玉料町の姿やそれまでの歴史を考古・歴史資料や映像などで紹介。特に県重文の小泉大塚越3号古墳・小泉長塚1号古墳石室出土品、幕末の一級史料「三右衛門日記」が見どころ。

〒370-1105 群馬県佐波郡玉料町大字福島325番地 玉料町文化センター内

TEL:0270-30-6180 FAX:0270-30-6183

E-mail rekisi@town.tamamura.lg.jp

URL https://www.town.tamamura.lg.jp/category/bunya/kanko_rekishi/rekishishiryokan/

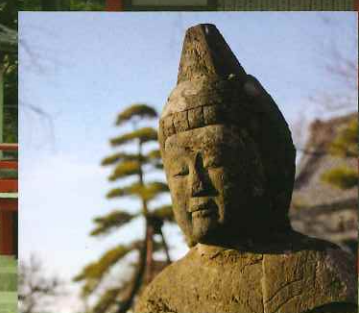
■開館時間:午前10時~午後4時 ■休館日:月・火・水・祝日

玉料町の歴史を知るにはまずはここへ



玉料町 歴史散策マップ

錦野の里で歴史と出会う...



玉村町ワイドMAP



玉村町の歴史は古く、古代には約二百基の古墳が点在したことが確認されている。平安時代には伊勢神宮の御厨となり、戦国時代には交通の要所として、上杉、武田、北条の勢力争いの中に置かれた。江戸時代になると、水田開発が進み、かつ日光例幣使道の最初の宿場として栄えた。

歴史資料館にて報告書「描かれた民俗—文人画家・千種玉斎の世界—」発売中!

玉村町の指定文化財一覧

(令和5年3月31日現在)

種類	指定年月	指定物件名	所在地	所有者(管理者)
国重	M41.8.1	玉村八幡宮本殿1棟(附 棟札 6枚)	玉村町下新田1(玉村八幡宮)	玉村八幡宮
国重無民	H14.2.12	楳越神明宮の春嶽祭	玉村町楳越412-4(神明宮)	春嶽祭保存会
県重	H12.3.21	渡辺家文書 29冊「三右衛門日記」	玉村町福島325(町歴史資料館受託)	個人(町歴史資料館)
"	H20.9.12	小泉長塚1号古墳出土品一括(244点)	玉村町福島325(町歴史資料館他)	玉村町
"	H20.9.12	小泉大塚越3号古墳出土品一括(276点)	玉村町福島325(町歴史資料館他)	玉村町
県重有民	H20.3.27	利根川中流域玉村町の漁撈用具一括(220点)	玉村町福島325(文化財整理室)	玉村町
県重無民	H27.3.24	五料の水神祭	玉村町五料1010(飯玉神社)	五料の水神祭保存会
県史	S24.1.11	斎藤直義の墓	玉村町板井1065(宝蔵寺)	宝蔵寺
町重	S62.12.4	五丁目屋台 1台	玉村町下新田1(玉村八幡宮境内)	五丁目町内会
"	S63.9.29	六丁目屋台 1台	玉村町下新田613-1、614-1	六丁目町内会
"	H7.11.28	阿弥陀三尊板碑並びに阿弥陀板碑 3基	玉村町上之手1282(観照寺)	観照寺
"	H12.4.27	文安路五輪塔 2基	玉村町南玉783(原家墓地)	個人
"	H12.4.27	胎室(藤枝太郎英義作)人物埴輪 2体	玉村町福島325(町歴史資料館受託)	火雷神社(町歴史資料館)
"	H14.3.27	男子人物埴輪 女子人物埴輪	玉村町福島325(町歴史資料館受託)	個人(町歴史資料館)
"	H26.3.20	千種玉斎作 豊年清作之図	玉村町福島325(町歴史資料館)	玉村町(町歴史資料館)
"	"	千種玉斎作 橋上人物百態	玉村町福島325(町歴史資料館)	玉村町(町歴史資料館)
"	H28.2.18	玉村八幡宮拝殿・幣殿(附 棟札2枚)、随神門(附 棟札2枚)、附 随神門大修理略記1枚、神楽殿、附 棟札2枚	玉村町下新田1(玉村八幡宮)	玉村八幡宮
"	R.2.1.23	櫛義堂(附 櫛義堂記1基、附 学堂発起帳1冊)	玉村町楳越486-1	玉村町
"	R.3.2.18	井田家住宅主屋、酒蔵、土蔵、煙突	玉村町上新田1626、1479-2	個人
町重無民	S46.4.1	稲荷神社獅子舞(上新田)	玉村町上新田1590(稲荷神社)	稲荷神社獅子舞保存会
"	"	すみつけ祭(上福島)	玉村町上福島1001(上福島公民館)	すみつけ祭祭典委員会
"	"	横橋音頭(南玉)	玉村町南玉760(住吉神社)	横橋音頭保存会
"	"	祇園祭(上新田)	玉村町上新田1590(稲荷神社)	上新田区
"	"	祇園祭(下新田)	玉村町下新田1(玉村八幡宮)	下新田区
"	"	祇園祭(角洲)	玉村町角洲2075-1他(角洲八幡宮)	角洲区
"	H12.4.27	地蔵祭(箱石)	玉村町箱石342-1(養命寺)	地蔵祭保存会
"	"	菱餅御神事(下之宮)	玉村町下之宮524(火雷神社)	菱餅御神事保存会
"	"	悪魔払い(飯塚)	玉村町飯塚295(飯玉神社)	悪魔払い保存会
"	"	悪魔払い(藤川)	玉村町藤川1155-1(稲荷神社)	悪魔払い保存会
町史	S44.10.1	梨ノ木山古墳	玉村町下茂木1027-1、-2、-3	個人・玉村町
"	H7.11.28	軍記山古墳	玉村町角洲4756-1、-2	玉村町
"	"	木島本陣跡歌碑1基	玉村町下新田484-1	個人

※国の選択/記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財 五料の水神祭 (H14.2.12) 五料1010 国の登録/登録有形文化財 重田家住宅 (H13.11.20) 小泉42

国の登録/登録有形文化財 玉村八幡宮末社国魂神社(旧玉村尋常高等小学校奉安殿)(H26.10.7) 下新田1 県の登録/ぐんま納産産 渡辺家住宅主屋 (H24.10.17) 福島1328

●国重……国指定重要文化財 ●県重……県指定重要文化財 ●町重……町指定重要文化財 ●国重無民……国指定重要無形民俗文化財 ●県重無民……県指定重要無形民俗文化財 ●町重無民……町指定重要無形民俗文化財 ●国史……国指定史跡 ●町史……町指定史跡 ●県史……県指定史跡 ●町重無民……町指定重要無形民俗文化財 ●町史……町指定史跡

ちよつとそこまで古探訪 玉村町歴史資料館へのアクセス



交通案内
 最寄駅は新町、車で10分
 JR各駅(本庄・高崎・前橋・藤岡・伊勢崎)より車で30分
 関越自動車道、高崎玉村スマートICより5分、高崎IC、上信越自動車道、藤岡ICより20分
 北関東自動車道、前橋南ICより10分
 JR新町駅から永井バス前橋駅行「玉村町役場」下車徒歩10分
 JR高崎駅から群馬中央バス伊勢崎行「玉村町役場南」下車徒歩10分



寺社・古墳の名所そろそろ
玉村地区

1 玉村八幡宮 国重 町重 国登録有形文化財 下新田1



玉村八幡宮の敷地は中世の屋敷跡を利用したもので、見ごたえがある社殿。



随神門●慶応元年(1865)建立。江戸時代は仁王門とよばれていた。

鎮守の森に囲まれた玉村八幡宮。源頼朝が鶴岡八幡宮を勧請して角淵に創設したのが始まりで、江戸初期に代官伊奈備前守忠次によって今の地に遷座したと伝えられる。本殿は三間社流造で室町後期の建築様式を残す国指定重要文化財。幣殿・拝殿、神楽殿、随神門は町重要文化財。末社国魂神社はもと玉村小の奉安殿で国登録有形文化財。

2 木島本陣跡歌碑 町史 下新田484-1



天保一四年(一八四三)に日光例幣使を務めた綾小路有長が書き残した和歌の石碑。元治元年(一八六四)建立。

通例、日光例幣使の帰路は東海道を通るが、帰路も日光例幣使道を利用した例幣使。帰路の無事を祈っている。

3 称念寺 家鴨塚 下新田1016-1



境内にある家鴨の供養塚。嘉永三年(一八五〇)、国定忠治の江戸送りの際、道案内角万佐十郎が忠治の持病(中風)の治療に家鴨の血を飲ませたと伝えられる。

5 阿弥陀三尊板碑 町重 上之手1282 (観照寺)



写真向かって右より弘安7年(1284)・弘長2年(1262)・文和2年(1353)。死者の供養や自らの死後の冥福を願って造られた供養塔。

6 文安銘五輪塔 町重 南玉783 (個人墓地)



原家の墓碑群のなかに、二つの墓が寄り添うように立っている。室町時代の夫婦の墓で、夫が文安五年(一四四八)、妻が翌六年と、建立時期がわかる貴重な五輪塔。

8 軍配山古墳 町史 角淵4755-1-2



4世紀に造られた円墳。内行花文鏡・勾玉などが出土している。軍配山の名は、天正10年(1582)の神流川合戦で、織田信長家臣滝川一益がここで軍配を振ったという伝承からつけられたといわれている。

9 角淵八幡宮 角淵2075-1



建久4年(1193)、源頼朝が那須野(栃木県北部)での狩の帰路、休憩した鳥川の風景が鎌倉の由比ヶ浜に似ていると、同6年に鶴岡八幡宮より分祀し、建立させたと伝わる。現在の本殿は江戸後期のもの。

4 満福寺 福島1251



玉村の地名伝説が残る寺で、山号は玉龍山。「龍の玉」が納めてある黒塗りの二重の箱が伝わっている。

7 斎藤宜義の墓 県史 (宝蔵寺) 板井1065



宜義は文化13年(1816)板井に生まれた。父宜長と共に群馬県内における関流和算の大家で、円理と呼ばれる現在の微積分の研究にすぐれた業績を残した。

10 五丁目旧屋台・六丁目旧屋台 町重



玉村八幡宮大祭用の屋台。五丁目旧屋台は、安政5年(1858)、越後の大工と吹上(埼玉県鴻巣市北西部)の彫物師による作といわれている。六丁目旧屋台は、その1年後につくられ、大工・彫物師も五丁目と同一と推定されている。

五丁目玉村八幡宮、六丁目下新田公園に屋台蔵あり。

のどかな景色に歴史が息づく
上陽地区

11 神明宮 樋越412-4



境内に咲く梅は見事。春鞆祭の祭場。

12 花台寺 五仏 樋越207-4



いにしえに伊勢太神宮を勧請し、のち安元元年(一一七五)、藤原秀郷の末裔、足利又太郎忠綱が再興して、樋越村字神人村八王塚(現神明)に鎮座したと伝えられる古社。本殿は一間社流造。境内には二八の末社である石殿が建ち並んでいる。

中世に阿佐美氏の屋敷があった所。

境内には元禄二年(一六八九)建立の五智如来石仏がある。中央の大日如来が胎藏界の仏で他の四仏は金剛界という不思議な組み合わせで、五仏揃った貴重なもの。

13 嚮義堂 町重 樋越486-1



「嚮義堂記」 「學」

伊勢崎藩時代の郷学(庶民の学校)で、文化5年(1808)に設立。現在ある建物は明治時代の建築と伝えられる。鬼瓦に「學」の文字が刻まれ、庭内には嚮義堂の石碑「嚮義堂記」が残る。

14 浦野神村の墓 樋越312-2



嚮義堂の先生。

江戸後期に、伊勢崎藩の子弟を教育し、すぐれた行政吏としても活躍した。本名は仁左衛門、隠居後の雅号が神村。

15 光琳寺 飯塚174



昔話 その昔、光琳寺の近くに塚があった。源頼朝がこの地を通ったとき、この塚で昼食をとり、家来が食い散らかした残飯を集め供養したため、この塚を飯塚とよぶようになった。そのとき頼朝が使っていた箸を逆さに挿したのが根付いたため「逆さ柳」といわれる柳があったが、今は枯れて現存しない。

上野寛永寺の天海の弟子尊忠により寛永一七年(一六四〇)に創建された天台宗の寺。現在の本堂は延享元年(一七四四)に建てられ、虹梁・鴨居に彫刻がなく質素な意匠で幕末の物とは一線を画している。また、同時代に建てられたと思われる山門が、薬医門の形式をとるのも貴重。

16 砂町遺跡案内板 (北部公園築山) 上福島311-1



北部公園の整備に伴う発掘調査で発見された「砂町遺跡」。平成一〇年度から一一年度までの調査で、古墳時代前期の灌漑用水跡や奈良時代の道路跡(推定「東山道」)、平安時代の水田が発見され、県内外から注目を集めた。



7月24日にそれぞれの神社で悪魔祓い(悪魔払い)というお祭りが子どもたちによって行われる。

17 稲荷神社(藤川) 藤川55-1

応仁2年(1468)、雨天続きで百姓が困窮していたところ、領主那波氏が山城国(京都府)伏見稲荷を勧請し、天災即滅の祈願をしたのを起源と伝えている。

18 飯玉神社(飯塚) 飯塚295



稲荷神社と同じく、応仁二年(一四六八)、百姓困窮を憂えた領主那波氏が、那波郡堀口村(伊勢崎市)の飯玉大明神の分霊を祀って、天災即滅を祈ったのを起源と伝えている。

芝根地区

19 梨ノ木山古墳 町史 下茂木 1027-1・2・3



二重の周溝をもち、前方後円墳の可能性がある。出土した埴輪などから五世紀に造られたと考えられる。この地方の支配者の墓と推定される。

20 川井城跡 川井 1192



別名霞城

烏川対岸の金久保城(埼玉県上里町)主斎藤定盛の支城。弟基盛が在城し北条氏直に属していたが、天正一〇年(一五八二)に神流川合戦で滝川一益に攻め落とされた。斎藤定盛の娘をめぐって清水邦正の子孫が摩利支天を祀り、神仏分離により慶応四年(一八六八)から八千矛神社となっている。

21 火雷神社 下之宮 524



雷を祀る神社で、平安時代の律令の施行細則を集大成した「延喜式」に上野十二社の中の八の宮として数えられている。学問の神様である菅原道真公の天満天神も祀られている。

23 養命寺 箱石 342-1



薬王山瑠璃光院養命寺と称し、古来薬師仏を本尊とした。境内にはお堂が北向きに珍しい3体の地蔵尊が祀られている。



毎年二月と七月には地蔵祭が行われる。

24 重田家住宅 国登録有形文化財 小泉42



重田家は、江戸中期から続く医家として長い歴史を持つ。広い屋敷内には、主屋・穀蔵・西の蔵・東の蔵・外便所・井戸屋形・表門及び塀等があり、この七棟が登録有形文化財として登録されている。
〔開館日〕平日・水・木・金曜日
〔土日はイベント時に開館〕
〔開館時間〕10時～16時

25 飯玉神社(五料) 五料 1010



応仁2年(1468)、時の領主那波氏が利根川対岸堀口村(伊勢崎市)の飯玉神社の分霊を祀ったのが起源と伝えられる。

7月には水神祭が行われる。



境内にあるカ石

26 五料関所跡 町史 五料1066-1-2-7



日光例幣使道に置かれた唯一の関所。江戸時代初め幕府によりつくられ前橋藩が管理していた。現在は、門柱の礎石と古井戸だけが残されており、昔をわずかにしのばせてくれる。

古井戸

27 常楽寺 五料 1074



縁起によると聖武天皇勅願、行基開山、天平年間(729～749)の創立とされる。本尊は不動明王。境内には南北朝時代の大師座像をはじめ多くの石造物がある。

●2月11日(祝) **すみつけ祭** (上福島公民館・上福島地区) 町重無民

天狗の面を付けた先達を先頭に、上福島地区の家々を回って、輪切りにした大根に墨をつけ、顔になすりつける。墨を付けられた人はその年、無病息災で過ごせるといわれている。起源は江戸時代元禄年間(1688～1704)といわれ、疫病が流行した当時、転んで顔に墨がついた女性が病気になるなかったことから始まったと伝えられている。



すみつけ祭



●2月11日(祝) **稲荷神社獅子舞** (上新田稲荷神社・上新田公民館・上新田地区) 町重無民

江戸時代元禄年間から続く獅子舞で、氏子の安泰と五穀豊穡、悪魔払いを祈願する。この獅子舞は稲荷流の一人立三頭獅子舞(牡2匹、牝1匹)で、オトウカ(稲荷)・カンカチ(稚児)・笛・唄で構成されている。



稲荷神社獅子舞



●2月24日・7月24日 ※地蔵かつきは23日 ※変動あり **地蔵祭** (養命寺・箱石地区) 町重無民

箱石の養命寺境内の北向き地蔵堂には3体の地蔵があり、その一つを担いで、無病息災、火災除けを祈る。明治後期、疫病が流行したときに始まった。



地蔵祭



●7月前半の土・日曜日 **角淵祇園祭** (角淵八幡宮・角淵地区) 町重無民

江戸時代からの祭りといわれ、養蚕・種殖業が盛んだった角淵地区では、明治時代に好景気が続き、祭りも盛大なものになった。祭祀する八幡神社は堀西と堀東にあり、屋台もそれぞれ1台ずつ持っている。両組の太鼓の打ち合である「ぶっこみ」に人気が集まる。



角淵の祇園祭



●7月第4土・日曜日 **玉村の祇園祭** (上新田地区・下新田地区) 町重無民

下新田五・六・七丁目と上新田四丁目で行われている八幡神社のお祭り。下新田の八幡神社は玉村八幡宮の境内に、上新田は稲荷神社境内にある。各丁目の屋台が県道142号線(旧日光例幣使道)を巡行する。



玉村の祇園祭



●10月16日 **横樽音頭** (南玉住吉神社) 町重無民

南玉地区に伝わる盆踊りまたは祝囃子の音頭。10月17日に行われる住吉神社の大祭前夜の宵祭りに、氏子が社で夜を明かす「お籠り」という行事があり、その時飲み干した酒樽を横にして叩いたのが始まりとされる。



横樽音頭



玉村町◆歳時記

●2月11日(祝) **槌越神明宮の春鞆祭** (槌越神明宮) 国重無民

農耕開始の祭礼として、あらかじめその年の豊作を祝うもの。寛政10年(1798)刊行の「伊勢崎土記」に祭りの記述があることから、江戸時代以降伝えられてきたと考えられる。境内では榊や檜の枝に餅を付けたものを鞆に見立てて、農作業のしぐさをする。祭りの最後に切り餅やミカンが群衆にふりまかれ、この中に混じっている初穂を拾った人は、その年必ず豊作になるといわれている。



槌越神明宮の春鞆祭



2/11 **早春の三大祭り** 1日に三つのお祭りを堪能できるオススメプラン!

- 1 すみつけ祭** 午前9時 上福島公民館出発
 - 2 稲荷神社獅子舞** 午前10時 稲荷神社で「剣の舞」奉納。11時から四方固めの舞・奉納。その後地区内を練り歩く。
 - 3 春鞆祭** 午後3時から 神明宮にて祭典 3時30分からの本番
- ※各祭とも駐車場は用意されお祈りまじりのみ受け入れ可。
(時間については毎年予定されている時間を掲載)※各祭とも駐車場は用意されお祈りまじりのみ受け入れ可。

●7月24日 **悪魔祓い(藤川)・悪魔払い(飯塚)** 町重無民

藤川の稲荷神社、飯塚の飯玉神社境内にある八幡神社のお祭り。「悪魔祓い、悪魔払い」と叫びながら、家々を回る。頭を獅子頭でかじるようにはさんでもらうと悪魔退散になるといわれている。



悪魔祓い



悪魔祓い(藤川)



悪魔払い(飯塚)

●7月25日に近い日曜日 **五料の水神祭** (飯玉神社・五料地区) 県重無民 国の選抜 記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財

利根川と烏川の合流する五料は、水運の村として栄えた。水神祭は、元々は船頭や漁師の守り神である水神様を祀るもので、約7mの麦わら舟を御輿に見立てて地区内を回った後、利根川に流す。



五料の水神祭



●旧暦10月末の午の日 **麦時御神事** (火雷神社) 町重無民

上野国十二社の一つである下之宮の火雷神社に貞観4年(862)から伝わる秘儀の神事。丑の刻に、暗闇の中で神官が祝詞をあげ、氏子が神社の周りにしめ縄を張る。このときしめ縄を出すのは厳禁とされ、それから13日間、一般の人の参拝も禁じられる。古代の祭りの様式を今に伝える貴重な行事。(真夜中の秘儀のため見学不可)



麦時御神事

